

移住風景

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

次の床へ

二月中旬のこと。床の張り替え工事のため、道の駅はつとうは三日間の臨時休業になりました。平成七年の開業以来ずっと使用してきた床です。八頭町に合併する前、つまり旧八東町時代にフルーツ共和国を夢見て作られたこの施設が、令和になってようやく変わるのだと思うと、くすんだ灰色でたまに結露して滑ったりするこの床が無くなるのが、なんとなく切ないような気持ちで、私は最後に一生懸命拭きました。



松下 聡子

した。印象が変わっただけでなく、滑りにくく、歩きやすいと好評です。八東のフルーツがもつときれいに美味しそうに見える気がします。私も、新しい床とともに頑張っていきたいと思っています。

八頭町内のにも多くの桜の名所がありますが、八東総合運動公園内にある「大桜」は町内でも最大級の桜です。樹齢約三百年。他と比較しても長寿命の桜であり、満開になると遠くからでもその様子を見る事ができます。また、峰寺薬師の参道も、桜の季節になると多くの木々から花を咲かせています。私都川沿いの道路だけでなく、薬師に至るまでの長い階段や境内周辺に桜が植えられており、参拝者の目を樂ませてくれます。

(商工観光室 田中)

協力隊担当の現場から
八頭町発見伝⑬

—八頭町の桜—



○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。